

CITIZEN

POS プリンター ユーティリティー マニュアル



シチズン・システムズ株式会社

はじめに

POS プリンター ユーティリティではプリンターの内部設定などを簡単に行うことができます。
また、BMP、GIF、JPG 形式のイメージを編集して、プリンターの NV メモリ(フラッシュメモリ)へロゴデータの登録や、テスト印刷などを行うことができます。

対応機種

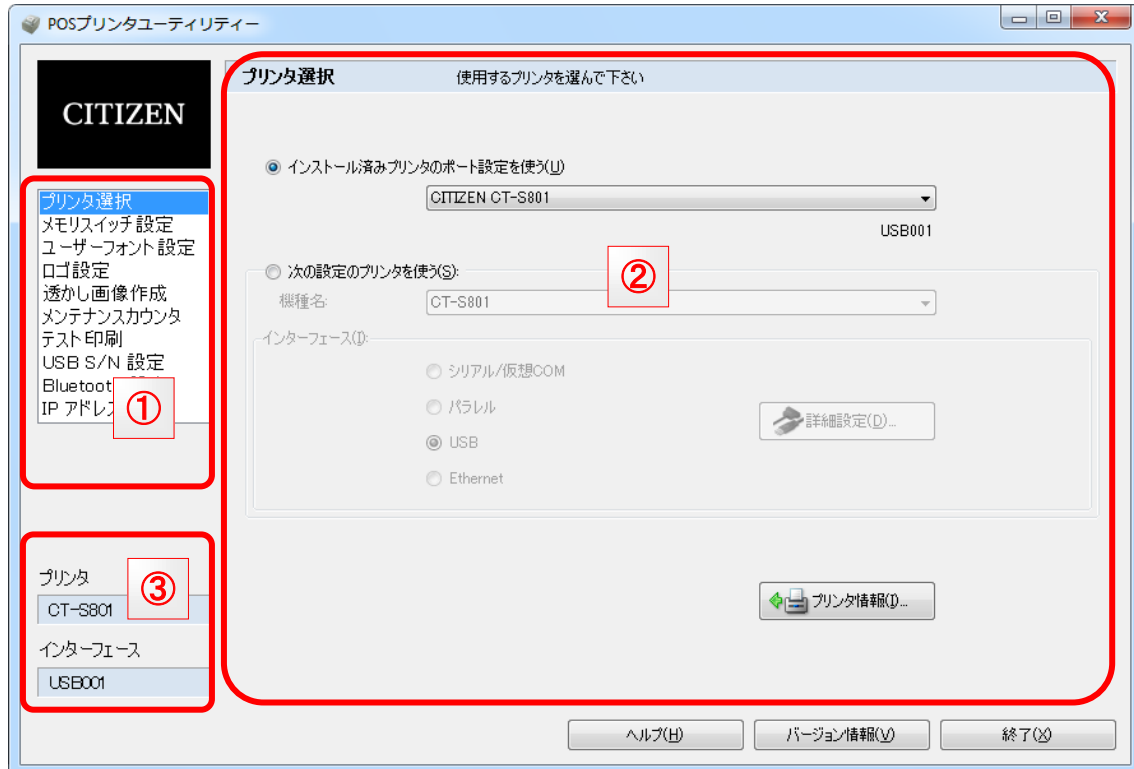
CT-S251, CT-S251W,
CT-S253, CT-S255,
CT-S280, CT-S281, CT-S281BT, CT-S281BD,
CT-S300, CT-S310,
CT-S401,
CT-S601, CT-S651, CT-S801, CT-S851,
CT-S601II, CT-S651II, CT-S801II, CT-S851II,
CT-S601IIW, CT-S651IIW, CT-S801IIW, CT-S851IIW,
CT-S2000,
CT-S4000,
CT-P29x シリーズ,
PMU2300III,
PPU-700II

サポート OS

Windows XP 以降の OS
要 .NET Framework 3.0 SP2

基本的な使い方

画面左側①の項目を選択すると、画面右側②が切り替わり、各項目の機能が利用できます。画面左下③には現在のプリンターとインターフェースが表示されます。

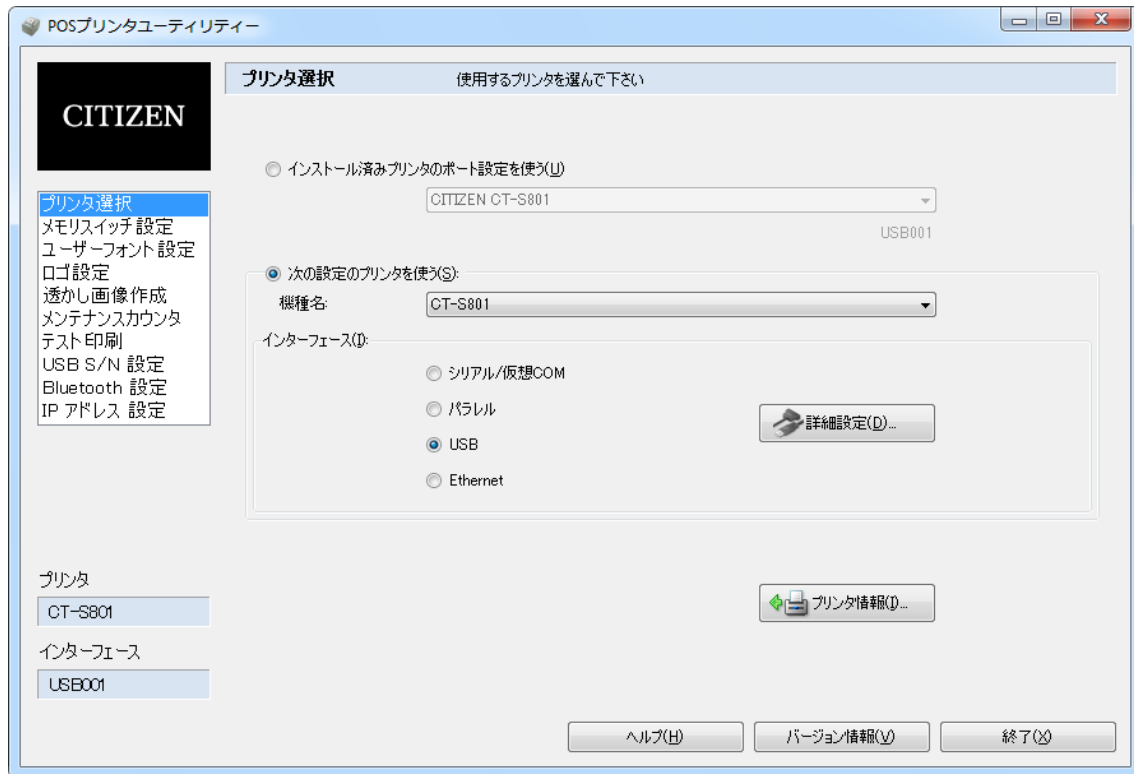


共通ボタン

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| 「ヘルプ」 | 「POS プリンター ユーティリティー」のマニュアルを表示します。 |
| 「バージョン情報」 | 「POS プリンター ユーティリティー」のバージョン情報を表示します。 |
| 「終了」 | 「POS プリンター ユーティリティー」を終了します。 |


プリンター選択

プリンターとインターフェースの選択を行います。



「インストール済みプリンターのポート設定を使う」ラジオボタン

インストール済みプリンターから選択することができます。

 をクリックして、利用するプリンターを選択してください。

「次の設定のプリンターを使う」ラジオボタン

手動で機種名とインターフェースとを選択することができます。

「機種名」リスト、「インターフェース」ラジオボタン をクリックして、機種名とインターフェースを選択してください。

「詳細設定...」ボタン をクリックして、[インターフェースの詳細を設定](#)してください。

「プリンター情報...」ボタン

プリンター情報の取得を試み、その結果を表示します。

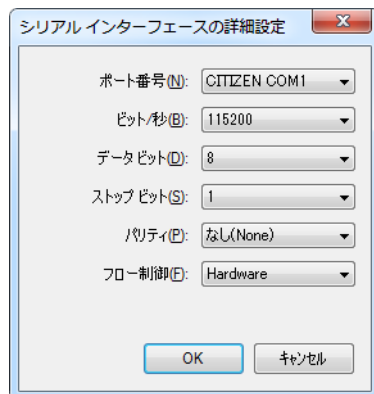
表示内容は、機種により変わります。

インターフェースの詳細設定

インターフェースの詳細設定を行います。

※選択したインターフェースの種類がパラレル・USB の場合、表示されない項目があります。

シリアルインターフェースの詳細設定



ポート番号:

ポート番号を選択します。

ビット/秒:

ボーレートを選択します。[1200]～[115200] より選択します。

機種により選択可能な値は変わります。

データ ビット:

データ ビットを選択します。[7]、[8] より選択します。

ストップ ビット:

ストップ ビットを選択します。[1]、[2] より選択します。

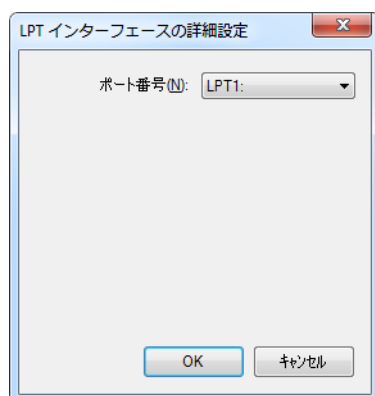
パリティ:

パリティを選択します。[なし (None)]、[奇数 (Odd)]、[偶数 (Even)] より選択します。

フロー制御:

フロー制御を選択します。[DTR/DSR]、[Xon / Xoff] より選択します。

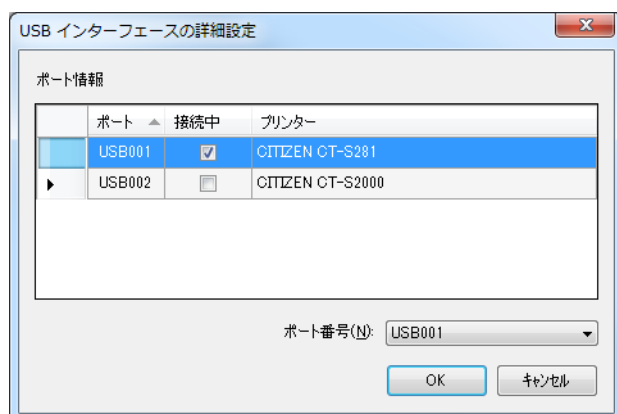
パラレルインターフェースの詳細設定



ポート番号:

ポート番号を選択します。

USB インターフェースの詳細設定



ポート情報:

ポート情報を表示します。

ポート情報をクリックしてポート番号を選択できます。

ポート番号:

ポート番号を選択します。

※USB インターフェースを仮想 COM でご利用の場合は、[「シリアルインターフェースの詳細設定」](#)をご参照ください。

Ethernet の詳細設定



ネットワーク情報:

ネットワーク情報を表示します。

ネットワーク情報をクリックして IP アドレスを選択できます。

「更新」ボタン

ネットワークプリンターを検索して表示します。

検索可能なネットワーク・インターフェース・ボードは以下の通りです。

IF1-ETxx, IF2-ETxx, IF1-WFxx, IF2-WFxx, IF1-ESxx

ホスト名または IP アドレス:

ホスト名、または、IP アドレスをタイプします。

ポート番号:

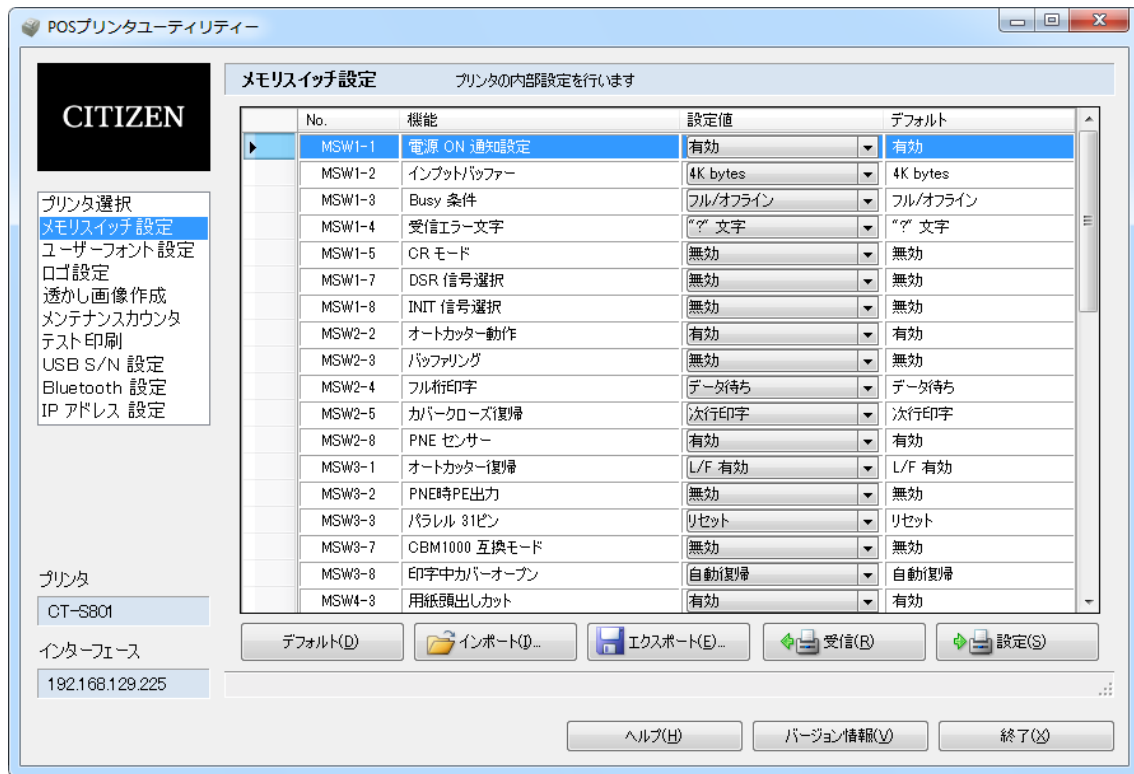
ポート番号をタイプします。デフォルトは 9100 です。

※ドライバーに **"SEH Print Monitor"** または、**"Standard TCP/IP Port"** をご利用の場合は、ポートのプロパティ「**双方向サポートを有効にする**」チェックボックスのチェックを外す必要があります。

"CITIZEN TCP/IP Port" をご利用の場合は、上記の設定は必要ありません。

メモリスイッチ設定

プリンターのメモリスイッチ設定を行います。設定内容の保存、呼び出しも可能です。



■機種により表示される設定項目が異なります。

設定項目詳細につきましては、各プリンターの『取扱説明書』をご参照ください。

メモリスイッチ設定

「設定値」列の ▾ をクリックして、各行の設定値を選択してください。

例

No.	機能	設定値	デフォルト
MSW1-1	電源 ON 通知設定	有効	有効
MSW1-2	インプットバッファ	4K bytes	4K bytes
MSW1-3	Busy 条件	4K bytes	フル/オフライン
MSW1-4	受信エラー文字	45 bytes	“?” 文字
MSW1-5	OR モード	変更しない	無効

各ボタン

「デフォルト」ボタン

設定値をデフォルトへ戻します。

「インポート...」ボタン

【ユーティリティ形式】でエクスポートしたファイルを開いて、その設定内容を画面に反映します。

「エクスポート...」ボタン

画面で設定した内容をファイルへ保存します。

保存形式は、**【プリンター登録形式】**と**【ユーティリティ形式】**とが選択できます。

「受信」ボタン

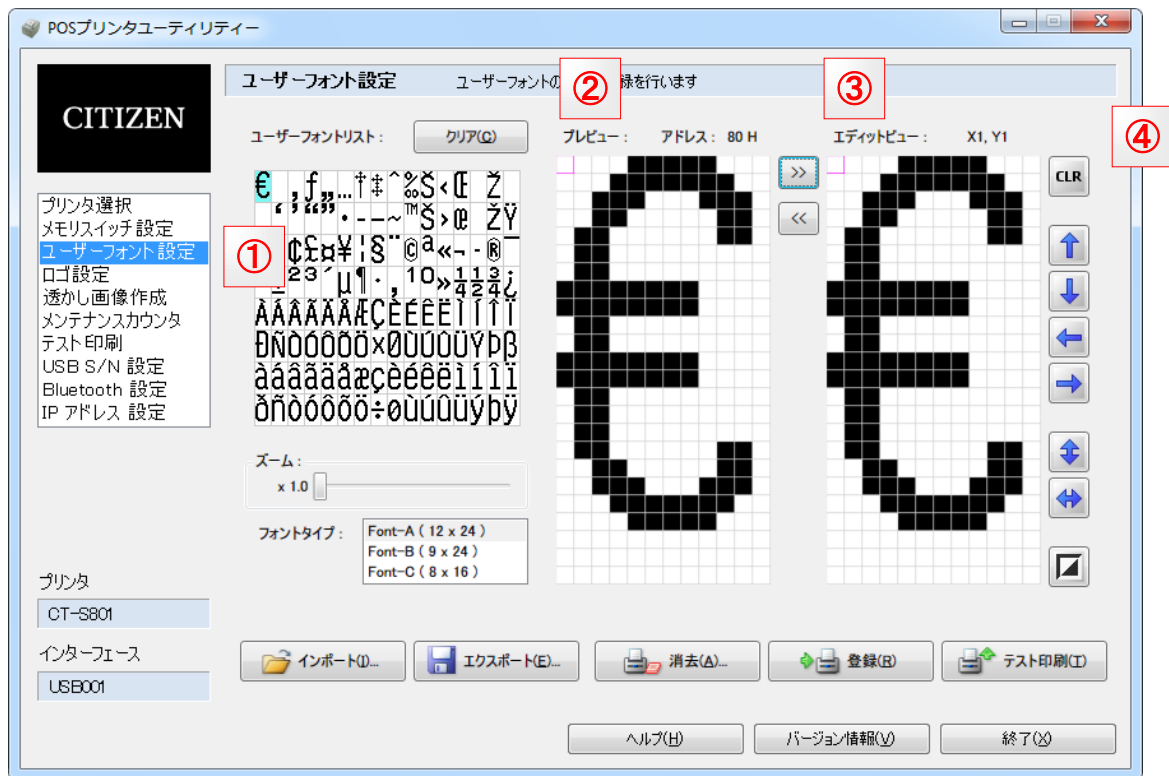
現在のプリンターの設定内容を読み取って、その設定内容を画面に反映します。

「設定」ボタン

画面で設定した内容をプリンターへ送信します。

ユーザー フォント設定

ユーザー フォントの編集と登録を行います。



編集登録手順

1. フォントタイプの選択

「フォントタイプ」リストをクリックして、編集するフォントタイプを選択します。
機種により Font-B のサイズが異なります。

2. 既存のユーザー フォントを開く

「インポート...」ボタンをクリックすると「ファイルを開く」ダイアログが開きますので、
編集したいフォントファイルを選択します。すると、「ユーザー フォント リスト」①
にそのフォントが一覧表示されます。


「クリア」ボタンで「ユーザー フォント リスト」① の一覧表示をクリアします。

「ズーム」スライダーで「ユーザー フォント リスト」① の一覧表示を拡大します。

3. フォントを「エディットビュー」③ へコピー

「ユーザー フォント リスト」① のフォントをダブルクリックして、「エディットビュー」
③ へコピーします。この時、「プレビュー」②も更新されます。

「ユーザー フォント リスト」① のフォントをシングルクリックした場合は、「プレビ
ュー」② へのみコピーします。更に「エディットビュー」③ へコピーしたい場合は、









 ボタンをクリックします。

4. フォントの編集


「エディットビュー」③ 上でフォントを編集、作成します。

左クリック(ドラッグ)して黒点を、右クリック(ドラッグ)して白点を、設定します。

「エディットビュー」編集ボタン群④

	全てのドットを白くします。
	1 ドット上ヘシフトします。
	1 ドット下ヘシフトします。
	1 ドット左ヘシフトします。
	1 ドット右ヘシフトします。
	垂直反転
	水平反転
	白黒反転

5. フォントを「ユーザー フォント リスト」① へコピー

 ボタンをクリックして、「エディットビュー」③ から「ユーザー フォント リスト」

① へコピーします。この時、「プレビュー」② も更新されます。

必要であれば、「エクスポート...」ボタンで編集したフォント一覧を保存します。

保存形式は、[プリンター登録形式]と[ユーティリティ形式]とが選択できます。

6. 「ユーザー フォント リスト」① を登録

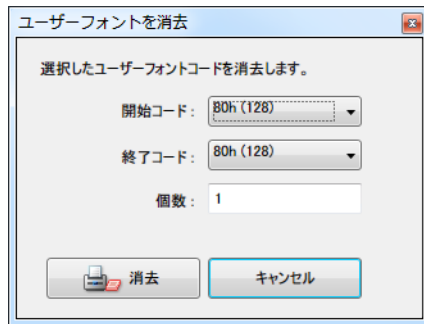
「登録」ボタンをクリックして、「ユーザー フォント リスト」① をプリンターに登録します。

「テスト印刷」ボタンで登録済みフォント一覧を印刷します。

プリンター内ユーザー フォントの消去手順

1. 「ユーザー フォントを消去」ダイアログを開く
「ユーザー フォント設定」画面の「消去...」ボタンをクリックすると「ユーザー フォントを消去」ダイアログが開きます

2. フォントアドレスの選択



消去したい「**開始コード**」と「**終了コード**」をそれぞれ選択します。
選択されたフォント数が「**個数**」に表示されます。

3. 消去
「**消去**」ボタンをクリックすると消去を開始します。
-

ロゴ設定

ロゴ データの登録と編集を行います。



上の図はキーコードモードに対応した一例です。

- BMP、GIF、JPG、PNG の 4 種類のデータを使用することができます。
- ロゴ登録モードには以下の 2 種類を選択できます。
 - ・キーコードモード: GS (L コマンド用
 - ・キーコード未使用モード: FS q コマンド用
- 機種によりその対応状況が異なります。

キーコードモード	CT-S280, CT-S281, CT-S281BT, CT-S281BD, CT-S300,
未対応機種:	CT-S310, CT-P29x シリーズ, PMU2300III

「インポート...」ボタン

[ユーティリティ形式]でエクスポートしたファイルを登録ロゴ データの一覧へ追加します。

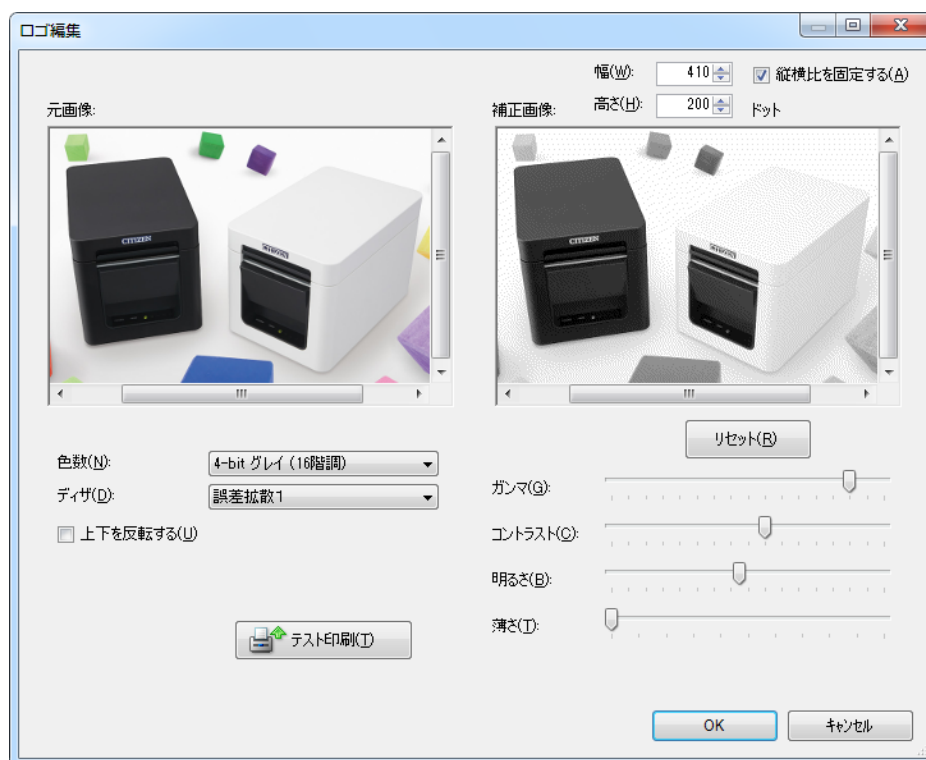
「エクスポート...」ボタン

登録ロゴ データの一覧でチェックしたロゴ データをファイルへ保存します。
保存形式は、[プリンター登録形式]と[ユーティリティ形式]と[BMP 形式]とが選択できます。

イメージの追加手順(ロゴ設定画面①)

選択したイメージを処理して、リストへ追加します。

1. 「イメージ追加...」ボタンをクリックすると「ファイルを開く」ダイアログが開きますので、登録したいイメージを選択します。



2. 「幅」、「高さ」で選択したイメージのサイズを指定します。
※「縦横比を固定する」にチェックがある場合、縦横の比率を変えずに変更します。
※「上下を反転する」にチェックがある場合、上下を反転します。
3. 「色数」で選択したイメージの減色数を指定します。

「色数」ボタン 対応機種:	CT-S251, CT-S251W, CT-S255,
	CT-S601II, CT-S651II, CT-S801II, CT-S851II, CT-S601IIW, CT-S651IIW, CT-S801IIW, CT-S851IIW

4. 「ディザ」で選択したイメージの減色方法を指定します。
5. 「ガンマ」、「コントラスト」、「明るさ」、「薄さ(黒を間引く)」スライダーで選択したイメージを補正します。
※「リセット」ボタンで補正量をデフォルトに戻します。
6. 「テスト印刷」ボタンで補正したイメージを印刷し、補正量を確認します。
※プリンターへ登録はされません。
7. 「OK」ボタンで補正したイメージを登録ロゴ データの一覧に追加します。

イメージの登録手順(ロゴ設定画面②)

「イメージ追加...」ボタンで追加したイメージをプリンターへ登録します。



1. 「モード変更」ボタンでロゴ登録モードを設定します。

「モード変更」ボタン 未対応機種:	CT-S280, CT-S281, CT-S281BT, CT-S281BD, CT-S300, CT-S310, CT-P29x シリーズ, PMU2300III
----------------------	---

2. 「△/▽」ボタンで選択中のロゴ データの位置を変更します。

チェックしたロゴ データは上から順にプリンターに登録されますので、登録順を変更したい場合、位置を変更して登録してください。

「削除」ボタンで選択中のロゴ データを削除できます。

3. 「キー」列にキーコードを設定します。

キーコードモードで利用する場合は必ず任意の英数字 2 文字をタイプして設定します。

キーコード未使用モードで利用する場合はキーコードが無効となります。

※Windows ドライバーで利用する場合のキーコード設定

ロゴ登録モード	キーコード
キーコードモード	"L1" ~ "L5"
キーコード未使用モード	無効(登録順の連番で "1" ~ "5" が利用される)

4. 「登録」列で登録したいロゴ データをチェックします。

5. 「登録」ボタンでチェックしたロゴ データをプリンターに登録して、それを印刷します。

印刷が正しくできたことを確認してください。

利用方法につきましては、『Windows ドライバー仕様書』をご参照ください。

ロゴ印刷(ロゴ設定画面③ キーコードモード)

プリンターに登録されたロゴ データの一覧取得、印刷、消去などができます。



登録キーコード一覧

L1	テスト印刷(T)
L2	
L3	消去(E)
L4	全消去(A)
	一覧取得(L)
	メモリ情報(M)

メモリ情報

総量: 393216
残量: 240161

- ・「テスト印刷」ボタンで選択されているキーコードの登録済みロゴ データを印刷します。
 - ・「消去」ボタンで選択されているキーコードの登録済みロゴ データを消去します。
 - ・「全消去」ボタンで全ての登録済みロゴ データを消去します。
 - ・「一覧取得」ボタンで全ての登録済みロゴ データを表示します。
 - ・「メモリ情報」ボタンでプリンターのメモリ情報を表示します。
-

ロゴ印刷(ロゴ設定画面③ キーコード未使用モード)

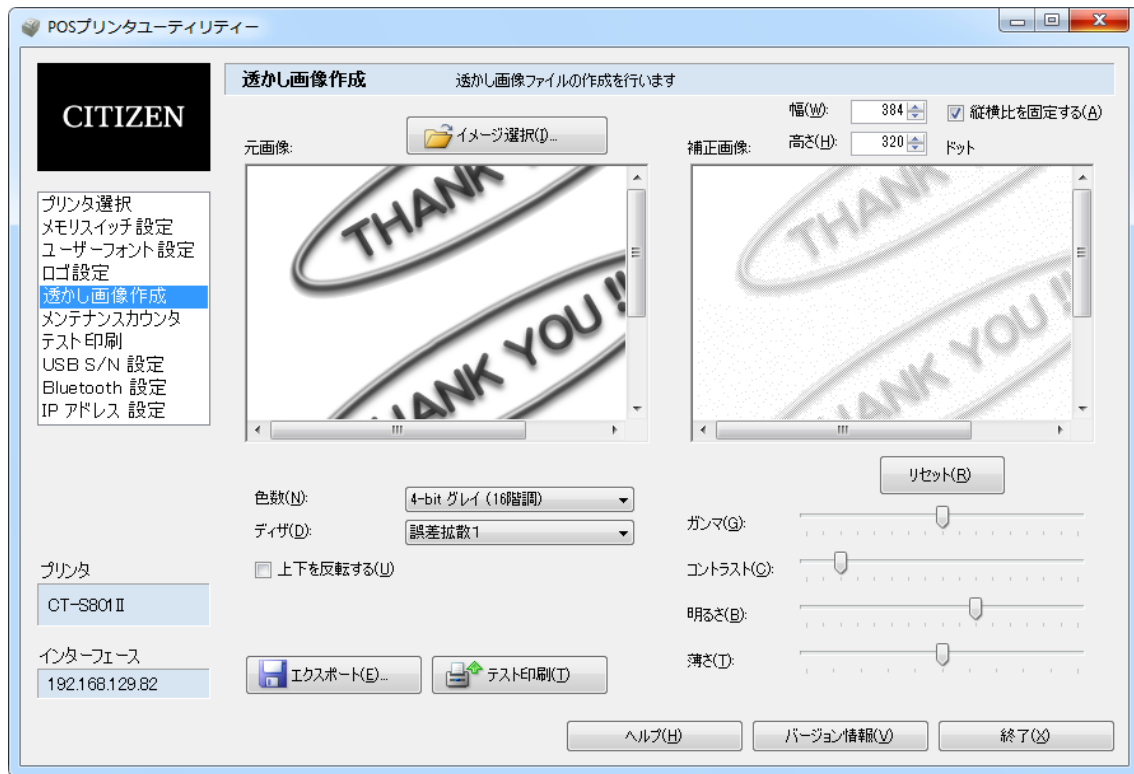
プリンターに登録されたロゴ データの印刷ができます。



- ・「テスト印刷」ボタンで選択されている番号の登録済みロゴ データを印刷します。
-

透かし画像作成

Windows ドライバー Ver2.0 以上で利用可能な透かし画像ファイルの作成を行います。



作成手順

1. 「イメージ選択...」ボタンをクリックすると「ファイルを開く」ダイアログが開きますので、透かし画像にしたいイメージを選択します。
2. 「幅」、「高さ」で選択したイメージのサイズを指定します。
※「縦横比を固定する」にチェックがある場合、縦横の比率を変えずに変更します。
※「上下を反転する」にチェックがある場合、上下を反転します。
3. 「色数」で選択したイメージの減色数を指定します。

「色数」ボタン
対応機種：

CT-S251, CT-S251W, CT-S255,
CT-S601II, CT-S651II, CT-S801II, CT-S851II,
CT-S601IIW, CT-S651IIW, CT-S801IIW, CT-S851IIW

4. 「ディザ」で選択したイメージの減色方法を指定します。
5. 「ガンマ」、「コントラスト」、「明るさ」、「薄さ(黒を間引く)」スライダーで選択したイメージを補正します。
※「リセット」ボタンで補正をデフォルトに戻します。
6. 「テスト印刷」ボタンで補正画像を印刷し、補正量を確認します。
7. 「エクスポート」ボタンでファイル名を指定して保存します。

利用方法につきましては、『Windows ドライバー仕様書』をご参照ください。

メンテナンスカウンタ

メンテナンスカウンタの表示とクリアを行います。



上の図は本機能に対応した一例です。

■ 機種により対応状況が異なります。

非対応機種:	CT-S280, CT-S281, CT-S281BT, CT-S281BD, CT-S300, CT-S310, CT-P29x シリーズ, PMU2300III, PPU-700II, CT-S251W, CT-S601IIW, CT-S651IIW, CT-S801IIW, CT-S851IIW,
--------	--

「リセット可能カウンタ」・「累積カウンタ」

紙送り行数、ヘッド通電回数、オートカッター駆動回数、製品の稼働時間それぞれ「リセット可能カウンタ」と「累積カウンタ」があります。

「受信」ボタンをクリックしてプリンターと通信を行います。

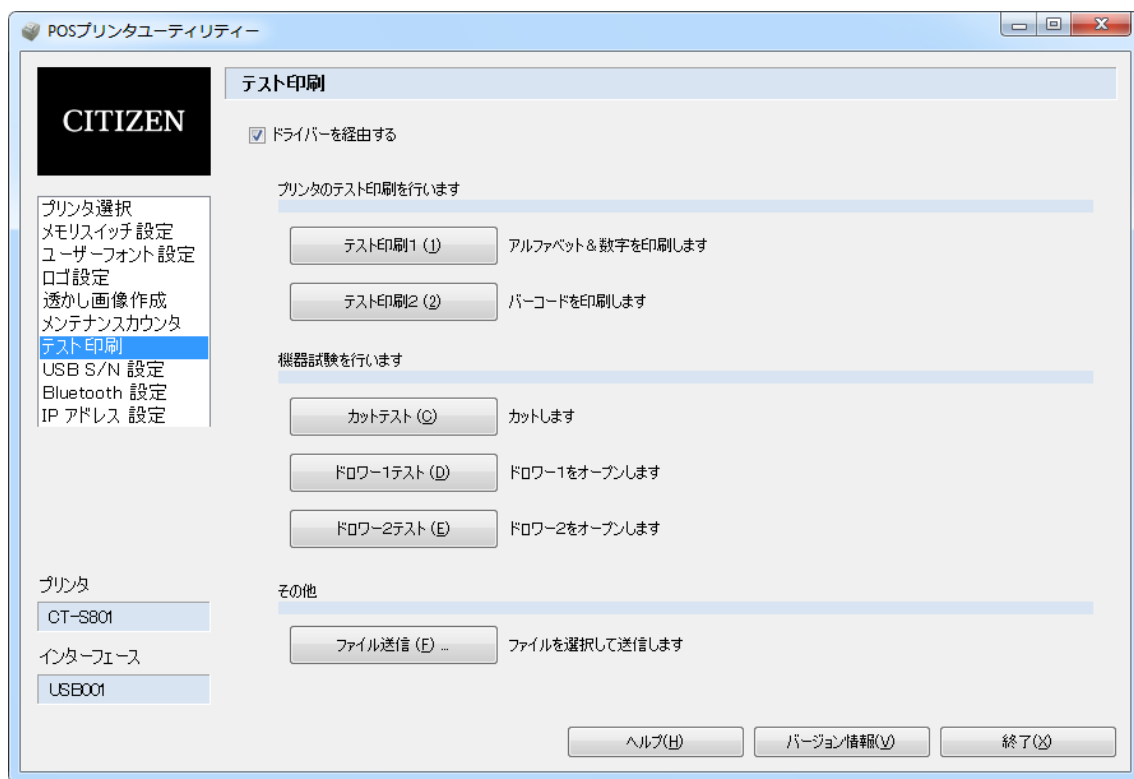
「印刷」ボタンをクリックしてプリンターへ各値の印刷を行います。

「クリア」ボタンでチェックした項目の「リセット可能カウンタ」を初期化する事が出来ます。

※「累積カウンタ」は初期化する事が出来ません。

テスト印刷

テスト印刷を行います。



上の図は全ての機能に対応した一例です。

■ 機種により使用できない項目があります。

「ドライバーを経由する」チェックボックス

チェックあり: テスト印刷はスプーラーサービスを経由してデータを出力します。

チェックなし: テスト印刷は選択されたインターフェースへ直接データを出力します。

「テスト印刷1」ボタン アルファベット & 数字を印刷します。

「テスト印刷2」ボタン バーコードを印刷します。

「カットテスト」ボタン カッター試験を行います。

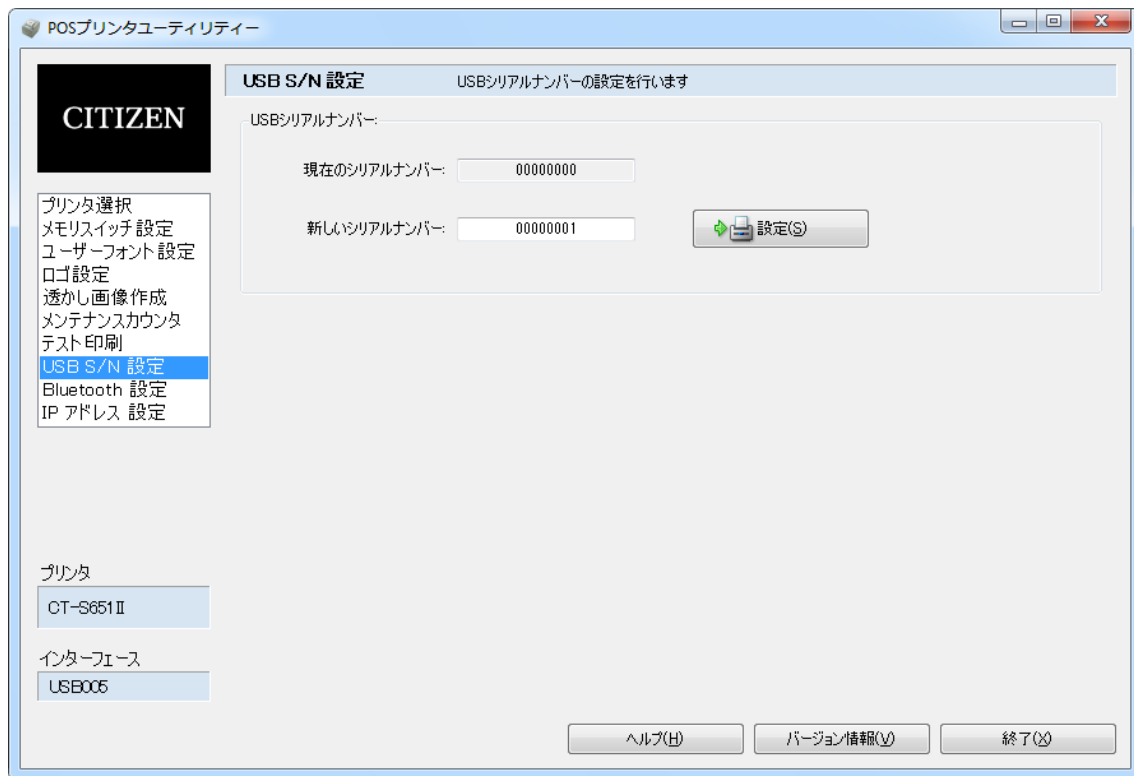
「ドロワー1 テスト」ボタン ドロワー1 をオープンします。

「ドロワー2 テスト」ボタン ドロワー2 をオープンします。

「ファイル転送」ボタン 選択した PRN ファイルを転送します。

USB S/N 設定

USB シリアル ナンバーの設定を行います。



上の図は本機能に対応した一例です。

■ 機種により対応状況が異なります。

非対応機種:	CT-S280, CT-S300
--------	------------------

「現在のシリアルナンバー」

USB インターフェースで接続している場合、現在の USB シリアル ナンバーを表示します。

「新しいシリアルナンバー」

新しい USB シリアル ナンバーをタイプします。

「設定」ボタン

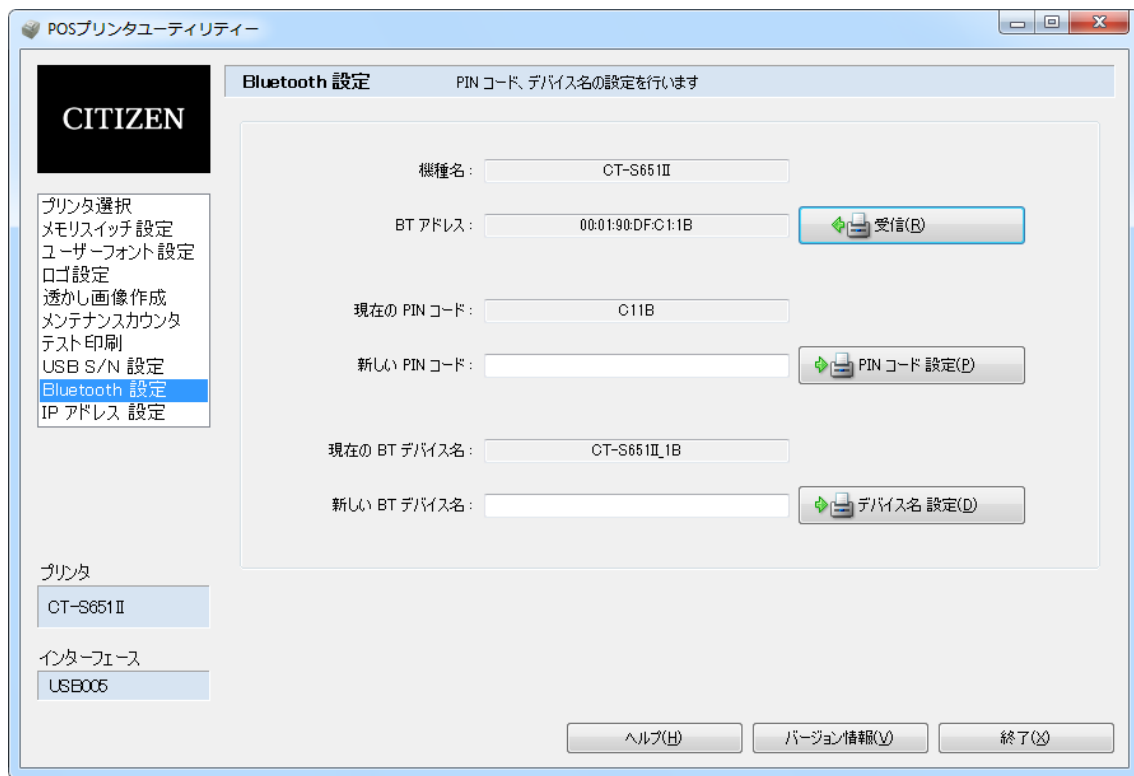
「新しいシリアルナンバー」にタイプした USB シリアル ナンバーをプリンターへ設定します。

※USB インターフェース接続で設定した場合は、「プリンター選択」画面でプリンター（ポート番号）を選択し直してください。

このときに新しいプリンターが追加された場合、印刷スプーラー サービスを再起動するか、または、コンピューターを再起動し直す必要がある場合があります。

Bluetooth 設定

PIN コード、デバイス名の設定を行います。



上の図は本機能に対応した一例です。

■ 機種により対応状況が異なります。

対応機種:	CT-S251, CT-S251W, CT-S255, CT-S281BT, CT-S281BD, CT-S601II, CT-S651II, CT-S801II, CT-S851II, CT-S601IIW, CT-S651IIW, CT-S801IIW, CT-S851IIW
-------	--

「受信」ボタン

「機種名」、「BT アドレス」、「現在の PIN コード」、「現在の BT デバイス名」をプリンターから受信して表示します。

※本機能はプリンターに **Bluetooth インターフェース**を装着した状態でのみ利用できます。

「PIN コード 設定」ボタン

「新しい PIN コード」にタイプした PIN コードをプリンターへ設定します。

PIN コードは以下の条件を満たす必要があります。

- ・文字数は 4～16 文字 であること。
- ・先頭文字は スペース (20H)、ダブルコーテーション (22H) 以外であること。
- ・文字コードは カンマ (2CH) を除く ASCII 文字 (20H～2BH, 2DH～7EH) であること。

「デバイス名 設定」ボタン

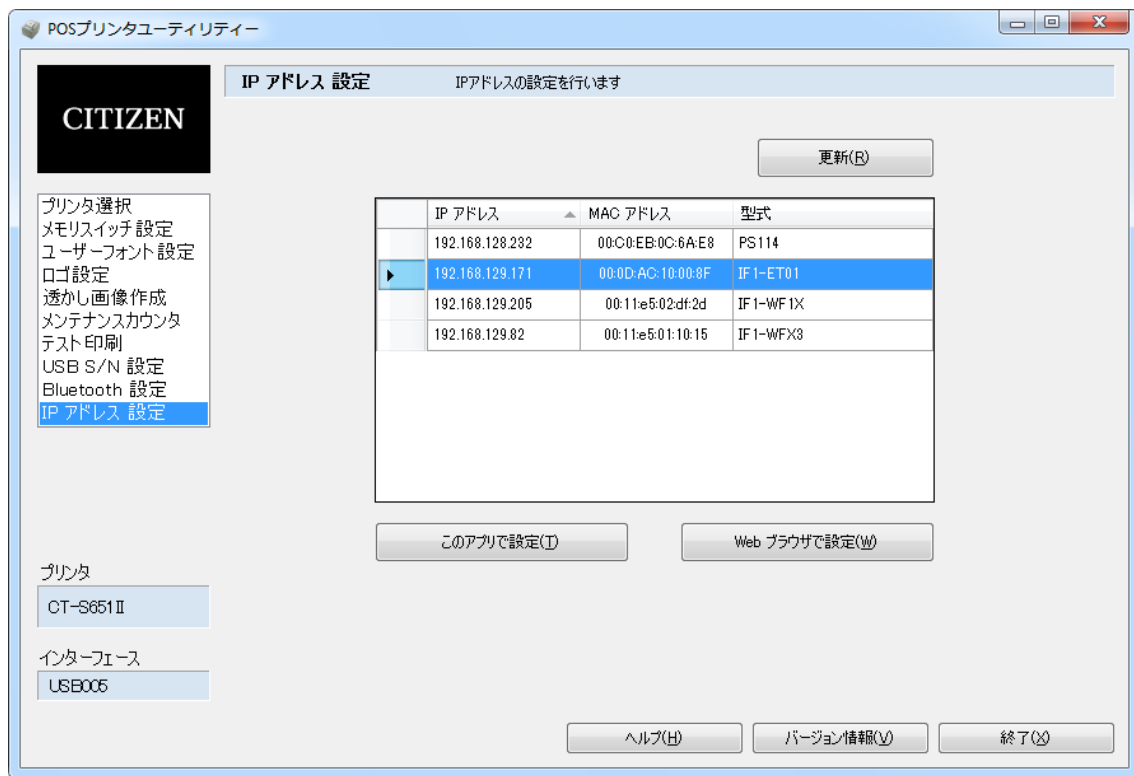
「新しい BT デバイス名」にタイプしたデバイス名をプリンターへ設定します。

デバイス名は以下の条件を満たす必要があります。

- ・文字数は 1～31 文字 であること。
 - ・先頭文字は スペース (20H)、ダブルコーテーション (22H) 以外であること。
 - ・文字コードは カンマ (2CH) を除く ASCII 文字 (20H～2BH, 2DH～7EH) であること。
-

IP アドレス 設定

DHCP、IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイの設定を行います。



上の図は本機能に対応した一例です。

※本機能はプリンターがネットワーク インターフェースで接続した状態でのみ利用できます。

「更新」ボタン

ネットワーク上のプリンターを検索して表示を更新します。

「このアプリで設定」ボタン

このアプリケーションを使用して IP 設定 を行います。

Web ブラウザで接続できない場合もこちらを利用してください。

※ 本機能は IF1-ESxx インターフェースの DHCP/BOOTP が変更できません。変更したい場合は Web ブラウザで設定してください。

「Web ブラウザで設定」ボタン

デフォルトの Web ブラウザを使用してネットワーク インターフェースの設定を行います。

詳細設定が必要な場合はこちらを利用してください。